

「油『談』しない!!」 火の始末



岡崎市消防長

太田 茂 氏

教育随想

平成二十四年度の愛知県防火作品展ポスターの部において、岡崎市立連尺小学校の五年生児童の作品が、愛知県知事賞に選ばれました。

絵画が秀逸であることはもちろん、ポスターのフレーズに、子供の発想ならではのセンスを感じました。「油談しない!!」。通常の「断」ではなく、「談」を使うことで、油に火をかけている時は、おしゃべりに夢中になってはいけないと注意を呼びかけるものです。

私自身も防火作品を審査する中で、その内容に、はっと驚かされることがあります。大人では気付かない子供たちならではの視点や発想は、長い消防人生を経過してもなお新しい刺激を与えてくれます。

消防の現場においても、多種多様な現場に対応するためには、柔軟な



平成25年3月1日

3月号

発行・編集
岡崎市教育委員会

今月の紙面

教育随想	1
岡崎市消防長 太田 茂氏	
この人に聞く	2
ロンドンオリンピック バレーボール銅メダリスト 井上 香織氏	
羅 針 盤	2
音楽科指導員 麻場ちとせ	
ふれあい	3
額田中 大島由貴子	
特 集	4
1年のあゆみ	
お知らせ	6
フォト・ヒストリー ...	8
木造校舎	
この本を	8



思考や全体を把握する想像力が求められます。常識にとらわれず、常に新しい視点・発想をもって臨まなければ、思わぬしつぺ返しを食らうことも少なくありません。

東日本大震災においては、その被害について「想定外」という言葉でまとめられてしまうことがしばしばありました。しかし、「悲観的に準備し、楽観的に対処する」という危機管理のセオリーが厳格に守られていけば、甚大な被害を、少しでも軽減することができたかもしれませ

ん。今となつては結果論ですが、被害に遭われた方々を思うと悔やまれてなりません。

社会の秩序を保つためには、ある程度の画一性が求められますが、社会の発展を望むならば、固定概念にとられない多様な視点・発想が求められます。

今は開花を待つ種のようなものですが、子供たちの小さなアイデアの中に、日本の将来をより良くするための、大切なヒントが隠されているように思います。

(おおた しげる)

この人に聞く



一日、一日を積み重ねて

ロンドンオリンピック

バレーボール銅メダリスト

井上 香織 氏

西尾市のデンソー体育館に、井上さんを訪ねた。井上さんがキャプテンを務めるデンソーバレーボール部は、Vリーグのトップクラス「プレミアリーグ」で日本一を目指して戦っている。そのシーズンの最中、インタビューに答えていただいた。

「現在は岡崎市在住ですが、出身は兵庫県です。バレーは小学校三年生から始めました。小学生のころから背が高く、ポジションはミドルブロッカーでした。中学生のときは、将来は実業団チームで活躍し、オリンピックに出場したいというのが夢でした。」

井上さんは、昨年夏のオリンピックでその夢を実現し、見事に銅メダルを

獲得した。今はバレーがとても楽しいと語る井上さんだが、これまでにやりたいと思ったことが数え切れないほどあるそうだ。

「高校では自分の力を伸ばしたいと思い、県内で最も強いと言われていた県立水戸高校に進学しました。でも、練習が辛く、何度もやめたいと思っていました。寮で生活していたので、やらなければ仕方ないのですが、練習が終わったら、監督に『部活をやめさせてください』と言いに行こうと毎日思っていました。でも、いつでもやめられると思ったら気が楽になり、また明日頑張ってみようという気持ちになれました。」

卒業後は一八二センチの長身と高い身体能力を評価され、現在のチームに入団した。八年後、全日本のメンバーに登録され、翌年は世界選手権に出場し、三位に入賞した。

井上さんは、この大会のブロックポイントで一位に輝いた。五輪出場があがれではなく現実的な目標になっていった。しかし、翌二〇一一年、試練が訪れた。試合中に起きた右肩亜脱臼のため、二度にわたってメスを入れることになったのだ。

「一回目の手術は三月でした。怖い思いはありましたが、オリンピックまで時間があるときだったので、迷いはありませんでした。絶対治してオリンピックに間に合わせてやろうと思って



ました。でも、再発した九月は、オリンピックまでの時間がぎりぎりでした。一度手術したという経緯から、再手術しても治る保証はありませんでした。しかし、オリンピックをあきらめたくないと思い、手術を受けることにしたのです。手術後はリハビリやトレーニングに、一日に八、九時間取り組むこともありました。アタックやブロックができるようになったのは四月です。手術前よりいいパフォーマンスができなければ、全日本に自分のポジションはないと思っていました。六月終わりにオリンピックメンバーに選ばれたときは、素直にうれしかったです。うれしかったと同時に、選ばれた責任を強く感じました。」

今後の目標は、Vリーグで日本一にすることだ。井上さんはこれからも、夢に向かう一日一日の歩みを止めることはない。

氏名 いのうえかおり
住所 岡崎市

羅針盤



「思いをもって」歌う子供へと

導く授業

音楽科指導員 麻場ちとせ

「でつかあい。」

空っぽの大樽の中、大の字で手を振る担任の写真に驚きの声が湧く。玉石と同じ重さの砂袋持ち上げ体験や、八丁味噌作り職人のインタビュー映像と、A先生が自らの足で稼いだ仕掛けが次々に登場する。「夢ふくらませ」一年生の授業である。

七五調、文語体で書かれた歌詞は、その意味も歌われている情景も、一年生の子供たちには難解だ。

「これも実りの大地だよ」と、黄金色に実る稲穂や、学区の大豆畑の写真を提示。「自然からの贈り物ってすごいね」と、身近な風景や平易な言葉で理解を促すA先生。

次に、B児のつぶやき「技を受け継ぐってどういうこと」を取り上げ、玉石を見せた。絵本『ねぎぼうずのあさたろう』の読み聞かせにより、



A男の笑顔に支えられて

額田中 大島由貴子

あどけなさの残る、笑顔がとても愛くるしいA男。教員になって初めて担任をし、今年で三年目を迎えた。おそらく、一生忘れることのできな

い生徒になるであろう。
A男との三年間は、決して楽しいことばかりではなかった。A男は気分屋の面があり、数秒前まで楽しそうに話していたかと思うと、突然スイッチが入る。何かに腹を立て、近くの物にあたっては教室を飛び出していく。月日がたつごとにA男の気持ちは荒れていき、次第に彼の表情から、かわいらしい笑顔は消えていった。

A男は、教室の中でじっとしていることができず、注意を促しても上の空。私はそれが許せず叱るということの繰り返しで、当然、互いに声を荒げてぶつかりあうことが何度もあった。A男のことを思って注意しているのだが、A男は私の助言に耳を貸そうともしない。「自分のこと

を見てほしい」「もつとかまってほしい」、そんな、愛情を求める思いの裏返しA男の行動を増長させているのではないかと気付くまでに、随分時間がかかってしまった。

ある日、A男が授業中に注意を受け、それに納得がいわずに教室を飛び出し、学校から出ていってしまった。授業もあったが、先輩の先生に「探しておいで」と背中を押されて駆け出した。必死で探し回り、歩いて帰ろうとするA男をようやく見つけた。色々聞きたいこともあったが、その日あったことは何も聞かず、たわいもない話をし、そのまま一緒に家へ帰った。

「また明日ね。」
返ってくる言葉はなかったが、照れくさそうに微笑み、手を挙げて応えてくれたA男の姿は忘れられない。
A男に対して腹が立つこともあった。うまく関わることができずに悩んだこともあった。でも、時々見せてくれるA男の笑顔に救われ、嫌なことが全て吹き飛んだ。

三年生になったA男は、迷いながらも、自分自身で卒業後の進路を決定した。私は、A男が自分の意思で決めた進路を全力で応援しようと思った。目標が決まったA男は、たくさんの人の愛情に触れ、次第に心を開き、表情も柔らかくなった。A男に愛くるしい笑顔が戻った。そんなA男の頑張りを温かく見守り、応援する級友がいた。友達より先に進路が

決まったA男も、周りが自分の進路に向かつて努力を続ける雰囲気の中、邪魔はできないと、彼なりに気を遣い始めた。そして、

「A男、それはだめでしよう。」

「分かった、分かった。ごめん。」

私の言葉に、A男は少しずつ素直に耳を傾けてくれるようになった。

A男との三年間は私にとって一生の財産になると思う。そして、A男との出会いがこれからの教員生活の支えになると思う。私自身を成長させてくれたA男に感謝している。

そんなA男もあと少しで卒業の時を迎える。どんな顔でその日を迎えるのか、今からとても楽しみだ。そして、新たな世界へ強く大きく翔いていってほしい。



岡崎八丁村の味噌作りについては学習済みの子供たち。実物を目の前に大喜びだ。「大きな地震にも崩れないように積めるまでに、五年も修業するんだって」。新たな知識や体験が、

歌詞のもつ意味をどんどん深めていく。更に「おいしいって言ってもらえるように、三六〇年間ずつと手作りで作り続けています」と、職人さんの話が続く。「玉石重かったよ。すごいね。頑張ってるね」「おいしいみそをありがとう」。歌いたい気持ちは最高潮へと膨らんだ。

「(玉石を積む大樽の)は、でっかい樽だから強く歌う」と、C児の根拠を伴った発言を受けて、拡大歌詞は情景写真と強弱記号で満載となる。表情豊かな範唱と伴奏に導かれ、本時で学んだ歌詞への驚きや感動の大きさは声量の豊かさへ、体験がもたらした実感は生き生きとした表情へと具現化され、歌声は高まった。

郷土を誇りに思い、愛する心を育みたいという、A先生の願いが伝わってくる授業であった。

「思いをもって」歌うとは、「こんな気持ち伝えたい」「私ならこう歌う」と主体的に表現すること。A先生のような、授業への熱意と確かな教材研究が不可欠なのである。



●表彰

◆第13回創造アイディアロボットコンテスト全国大会

優勝(厚生労働大臣賞)

城北中三年

島川波山・近藤マコト

田邊愛博・鈴木大輝

三位

城北中三年

水野雅大・鈴木崇大

五位(プレゼン賞)

城北中三年

市川桂也・齋藤祐一

木村太郎・竹内舜

◆第5回学校給食・学校における食育に関する絵画コンクール

全国学校栄養士協議会会長賞

六名小二年 前川 智彩

◆第6回全国中学校美術部作品展

入選

矢作中三年 中根 凌央

矢作中二年 阿部 美南

◆第26回全国短歌フォーラム

in塩尻

学生の部

秀作賞

矢作北中一年 木東 真琴

◆第21回上廣道徳教育賞

小学校の部 優秀賞

根石小教諭 大本 満子

◆第61回愛知県学校給食研究大会

学校給食優良学校 岩津中学校

◆県中学生バスケットボール新人大会

男子の部

第二位 北中学校

第三位 葵中学校

◆全国中学生選抜卓球大会愛知県予選

男子の部

第三位 矢作中学校

◆第34回愛知県特別支援教育振興大会

教育功労者顕彰

本宿小学校

◆県読書感想文コンクール

県知事賞

葵中三年 八巻 美穂

毎日新聞社奨励賞

六ツ美北中三年 萩原 緑

◆県学校図書館研究会賞

常磐南小四年 近藤 暉里

岡崎小六年 大竹奈菜実

愛知図書館協会賞

葵中一年 加藤 大青

甲山中一年 水野菜々子

優良賞

小豆坂小二年 杉浦 陸斗

連尺小二年 角田 彩翔

広幡小二年 市川 未来

六ツ美南中二年 牧野 侑生

竜美丘小四年 ヘラット立樹

竜谷小四年 浦野真以子

根石小四年 水野 桜子

矢作西小六年 可児 有希

竜谷小六年 浦野 恭一

緑丘小六年 木河 紘平

竜海中三年 今井 咲帆

竜海中三年 成田 遥紀

◆県読書感想文コンクール

優秀賞

北野小三年 上野 微笑

上地小五年 柳澤ありす

優良賞

美合小一年 天野 晴心

福岡小一年 鈴木 歩優

羽根小二年 飯田 彩笑

常磐小二年 日野 大地

矢作東小二年 林 悟葵

三島小三年 小島 基

大樹寺小四年 大山 萌恵

奥殿小四年 清水 英翔

北野小五年 山本 真菜

北野小六年 高木 春樹

◆第48回岡崎市小中学校読書感想文読書感想文コンクール

読書感想文の部

市長賞

六ツ美南中三年 牧野 侑生

常磐南小四年 近藤 暉里

葵中三年 八巻 美穂

市議会議長賞

広幡小二年 市川 未来

岡崎小六年 大竹奈菜実

六ツ美北中三年 萩原 緑

読書感想画の部

岡崎南ライオンズクラブ会長賞

羽根小二年 小池健太郎

大樹寺小四年 大山 萌恵

六ツ美北中三年 杉江 遥奈

●少年自然の家だより

○山の学習の一年

テントの片付けられたキャンプサイトに、ホオジロが鳴いている。この一年、自然の家では各学校が工夫した楽しい山の学習が行われた。「やったあ」。汗びっしょりになって歩いてきた生徒に、先生方が「がんばったなあ」と声を掛ける。中学校の中には、中央総合公園でバスを降り、ウォークラリーをしてくる学校や、入所式までの時間をうまく使って、須淵の里の林道コースを歩く学校もあった。自然を体で感じながら、声を掛け合って歩くことは、普段の学校生活ではできない山の学習ならではの経験になった。

弁当をやめて、自分たちで手打ちしたうどんを昼食にした学校もあった。どの子ども時間も忘れてこねていた。最後



に、先生方が、麵を大きなはそりで茹で上げた。おいしそに、うどんをほおばる子たちの笑顔が素敵だった。細かな計画や当日の準備などは少し大変のようだが、思い出が深まっていた。秋の夜、キャンドルファイヤーで盛り上がった学校もあった。雨の日に仕方なく行うものとは違う。キャンプファイヤーだと、役割が一部の代表に限られがちだが、キャンドルファイヤーならば、ロウソクを持って、一人一人が主役として参加できる。火舞いや火文字が窓に映り、忘れられない山の学習になっていた。来年度は、四月九日から学校利用が始まる。一人一人に、自然の中の感動がいっぱい生まれるような山の学習にしてほしいものである。

平成24年度教育研究論文入賞者

●個人研究の部

最優秀賞

Table with columns: 氏名, 学校名, 教科領域, 研究主題. Includes authors like 市川 翔子 and 大久保孝治.

優秀賞

Large table listing authors and their research topics under the '優秀賞' category, including names like 中根 良輔 and 松井 昭宏.

<論文入賞者数>

Summary table showing the number of award-winning papers by category (賞) and author type (個人/共同).

佳作

Table listing authors and their research topics under the '佳作' category, including names like 西尾 修一 and 村松香保里.

●共同研究の部

最優秀賞

Table listing authors and their research topics for the '最優秀賞' in the '共同研究の部' category.

優秀賞

Table listing authors and their research topics for the '優秀賞' in the '共同研究の部' category.

佳作

Table listing authors and their research topics for the '佳作' in the '共同研究の部' category.

・カ
ツ
ト
美川中
長坂有里乃

木造校舎

(昭和16年)

写真提供：矢作北小学校

昭和十六年、太平洋戦争が始まり、戦争に向けた国民教育のための「国民学校令」が公布され、校名が碧海郡矢作北国民学校に変わった当時の木造校舎の写真である。

昭和十七年十月には、修身教育の柱となっていた二宮金次郎の銅像までもが軍に供出されることになり、取り壊された。戦争が長引くにつれて物資が不足し、食べ物もなかなか手に入らなかったため、運動場を耕して、サツマイモや大豆を作った。また、ある教室は、軍の無線機の組み立て作業場となり、児童もその手伝いをさせられた。

この校舎は、戦後の児童たちを見守り続けたが、昭和二十八年六月の新校舎の建設に伴い、取り壊された。そして、時代の流れとともに、昭和四十年前後から市内小中学校の木造校舎は鉄筋校舎へと移り変わっていくことになる。

フォトヒストリー

岡崎の教育



春分の時期を迎える。今まで寒さに耐え続け、じつと体の中に養分を蓄え続けてきた植物は、この季節の変わり目に一気に外に向かってエネルギーを放つ。入試を迎えるこの時期の子供たちの姿とも重なる。目標の実現に向けて、今まで努力を重ね蓄えてきたものを、本番で思い切り發揮してほしい。きっと美しい花が咲く。

シオ スア

ずば抜けたスピード。選手の動きを一瞬で読み取る洞察力。相手チームの攻撃を止め、味方に流れを呼び込む。これらが、井上さんの持ち味である。外国勢と比べて劣る高さやパワーを補うために、努力を積み重ねて獲得してきた強みだ。自分という存在を生かす清々しい姿に、勇気をいただいた。

大きな希望と期待を胸に、精いっぱい返事と歌で、小学校を巣立っていく子供たち。その姿はりりしく、一人一人の表情を見ていると、いろいろな思いが込み上げてくる。これまで、何度涙を流し、見送ったことだろうか。今年も、またそんな瞬間がやってくるのだろうか、今から白いハンカチを準備する。

「あゆみ」を振り返る。今年度も、全国中学生カヌー大会の女子カヤック部門での優勝をはじめ、岡崎の子供たちは、スポーツ、芸術、文化など様々な方面で活躍し、成果をあげた。その成果の一つ一つは、子供たちの日々のたゆまぬ努力と周りの人たちの多くの支えがあつてこそ生まれたことを忘れてはいけない。

この本を

- * 日本人が「9割間違える」日本語 本郷 陽二
PHP研究所 ￥600
 - * 小学生に授業 河合隼雄・梅原 猛
朝日新聞出版 ￥735
 - * 植物はすごい 田中 修
生き残りをかけたしくみと工夫
中央公論新社 ￥882
 - * 置かれた場所で咲きなさい 渡辺 和子
幻冬舎 ￥1,000
 - * トヨタの片づけ OJTソリューションズ
中経出版 ￥1,365
- 「必要な書類を探すのに10秒以上かかるか」「1週間以上使っていない文房具があるか」等、4つの問いかけで始まる。1つでも当てはまる人は、仕事のムダが発生しているとのこと。トヨタの工場で培った片づけをすべての職場で活用できるようにまとめた1冊である。ムダがなくなり、効率が上がる、ビジネスの味方になる「片づけ術」を紹介している。「片づけとは『モノのマネジメント』」など、トヨタらしい名言も満載である。
- 上地小 本田 浩登